

令和元年度(2019年度)
北海道入札監視委員会現地調査結果について

令和元年度 北海道入札監視委員会 現地調査結果について（概要報告）

1 現地調査テーマ

- (1) 設定している入札参加要件における入札参加者数などの現状について（上川・釧路）
- (2) 低落札率及び高落札率の要因について（上川・釧路）
- (3) 多様な入札制度について（上川）

2 現地調査

(1) 第1回現地調査

- ① 実施日：令和元年11月14日
- ② 参加委員：八幡委員長、岡田委員、岸委員
- ③ 調査対象：上川総合振興局産業振興部（調整課、林務課、南部森林室）、旭川建設管理部
- ④ 主な論点
 - ・制限付一般競争入札における地域要件設定の考え方について
 - ・最低制限価格と同価落札に至った要因について
 - ・制限付一般競争入札を事後審査型で実施した理由について
 - ・入札を辞退する要因について

(2) 第2回現地調査

- ① 実施日：令和元年11月19日～20日
- ② 参加委員：大久保委員、清平委員
- ③ 調査対象：釧路総合振興局産業振興部（調整課、林務課、森林室、水産課）、釧路建設管理部
- ④ 主な論点
 - ・予定価格をオーバーして応札してくる要因について
 - ・内訳書における値引きの考え方について
 - ・余裕ある工期の設定の考え方について
 - ・最低制限価格と同価落札に至った要因について
 - ・指名競争入札における選考経緯について